

ある編集委員の留学記 その2: 留学先の街 Dayton の紹介

関屋大雄 千葉大学

1. まえがき

留学生活5か月になるころにこの原稿を書いています。こちらでの生活にもすっかり慣れ、楽しく充実した毎日を過ごしています。今回は私の留学先、Daytonについて御紹介します。これといった観光名所はなく、学会でもない限り皆さんが訪れることはないかと思いますが、なかなか味わい深い街です。

2. ライト兄弟と特許

こちらの教授の話によれば、Daytonは人口1人当りに換算すると、特許の数が圧倒的に多い街だということです。Daytonからは、著名な発明家が何人も出ています。その筆頭はライト兄弟(Wilbur, Orville Wright)です。ライト兄弟はDaytonで生まれ、育ちました。そのほかにもキャッシュレジスターを発明したJames Ritty、フロン冷蔵庫やエアコンシステムを開発したCharles Ketteringなどが挙げられます。近年は空軍の研究施設から多くの最新技術が生まれています。



▲空港では Wright Flyer がお出迎え

3. 研究と教育の街

DaytonにはW.P.A.F.Bと書かれる空軍基地があります。これは、Wright Patterson Air Force Baseの頭文字をとっ

たもので、Wrightはライト兄弟にちなんでいます(Pattersonについてはよく分かりませんでした)。全米最大級の空軍研究機関があるため、ここに知と資金が集結します。NASAのあるオーランドと双璧で全米でも最大規模の研究拠点だそうです。留学先の大学の多くの研究室が空軍施設と共同研究を行っています。また、夏になると全米から多くの学生がインターンシップでやってきて、地元の学生と交流します。それによって、地元の学生が刺激を受け、更に熱心に研究を進めるという好循環を生んでいるようです。

研究施設に勤めている人は博士号をもった人が多く、その家族がDaytonに住むわけですので、必然的にDaytonの教育水準は高くなります。Daytonは研究の街であるとともに教育の街であるもいえます。

ライト兄弟が飛行機の開発に成功し、Daytonに会社を興しこの街で多くの実験を行いました。その結果、空軍施設がこの街に作られ、その空軍施設には、常にハイレベルな知が結集する。それによって、街の教育水準があがり…という好循環がこの街にはあるようです。その流れを知ったとき、この街の面白さ、奥深さを感じました。

4. 観光・催しの紹介

上述のとおり、この街はライト兄弟、飛行機と空軍の街といえます。したがって、観光も必然的にそれに関連したものになります。まず、全米でも名の通ったものとして、空軍博物館(National Museum of the United State Air Force)があります。ここにはライト兄弟が作成した軍用飛行機から、最新の戦闘機まで300種類以上の飛行機が手の届くような至近距離で展示されています。ここに来れば飛行機の歴史(すなわち戦争の歴史)を一通り学ぶことができます。日本の零戦も展示され、太平洋戦争時の日本軍と“KAMIKAZE”については多くの資料、及びビデオによる説明がありました。

一方、ライト兄弟の足跡をたどる様々なものがNational Historic Park(NHP)として保存されています。ライト兄弟は飛行機の開発を始める前、3年間だけ自転車屋を開業しており、そこで機械工作の技術と当面の資金を稼いだそうです。すべては飛行機開発のため、ということで割り切っており、



▲空軍博物館とそこに展示されていた F22 戦闘機“Raptor”



▲ Dayton Air Show にて：F15 戦闘機とアパッチヘリコプター

ライト兄弟の飛行機に対する情熱を感じることが出来ます。その自転車屋は今でも建物が保存されており、その中には当時の工具・自転車が展示されています。また、飛行実験を繰り返した場所 (Huffman Prairie Flying Field), 記念碑 (Wright Brothers Memorial) など空軍基地の中に保存されています。

空軍関連の催しものとして、全米最大級の航空ショーである“Dayton Air Show”が毎年夏に開催されます。ここでは、複数の飛行機によるアクロバット飛行から、最新の戦闘機のデモンストレーションまで、様々なショーが展開されていきます。今年の目玉は、日本でも (アメリカから買わせようと (?)) 話題の、F22 戦闘機“Raptor”の飛行が一般に初公開されたことです。音速を超える時速 1600 キロの飛行では、飛行機が通過した後から音がやってきて、ものすごい空気の揺れを体感できました。更にびっくりしたのは、時速 50 キロでの超低速飛行です。その制御技術を想像すると、ほんの一部ですが、空軍のもつ最新技術を垣間見ることができ、ただ驚くばかりでした。

また、毎年 5 月に開催される世界最大規模のアマチュア無線の展示会“Dayton Hamvention”には、世界中からファンが集まるそうです。今年に行くことができませんでしたが、来年は様子を見に行きたいと考えています。

5. む す び

今回は Dayton について簡単に紹介させていただきました。観光の案内はこれが精一杯です。基本的には何もない、大変のんびりした街であり、その中で私もゆったりとした気持ち



▲左上：NHP の入口。右上：ライト兄弟の記念碑。左中：ライト兄弟の自転車屋。右中：ライト兄弟に関する資料館。左下：Wright Flyer B に関する資料館。右下：Wright Flyer B の複製 (実際にこれが Dayton Air Show で飛んでいました)

で研究に取り組んでいます。次回はこちらの大学のシステムと学生の考え方について紹介できればと考えています。